

『火の鳥』黎明編〔角川マンガ文庫所収〕

時は古代。女王ヒミコのヤマタイ国と対立するクマソ。
 部族間抗争は烈しく、
 戦場は血の海に。度々の危機をくぐり抜けて
 数奇な運命をたどる姉弟ヒナクとナギ、防人の猿田彦。
 そして、手柄欲しさに「火の鳥」を狙う欲望の男たち。
 酷くも美しいヤマトの自然を背景に
 「永遠の生命」へのそれぞれの「戦い」を描く。

火の鳥の知識伝達とその方法

その1 目前に回想するウラジのことは

「火の山の怒りくるった日にかならず火の鳥があらわれるといったシビキのおババのことはほんとうだったぜ」(8頁1コマ)...本当。

「あいつの生き血をしぼってのめばあの鳥が火の山といっしょにずっと生きてきたように のんだものはぜったいに死なないからだになるという...永遠のいのちを手にいられると.....おババがいった！」(8頁3コマ)...一緒。絶対

「だめだ！あいつは死なないんだじんじょうの弓矢や槍ではやつからだはびくともしないんだ！」(9頁8コマ)...尋常。

その2 女王ヒミコに語って聞かせるスサノオの伝聞回想のことは

というのは.....火の鳥は弓で射ようと槍で突こうと絶対に死なないのだ あの鳥はもう何百何千年生きているかわからぬ クマソの村の囚人の話によれば その男のじじめの子どもの頃にそのさらに前のじじめから火の鳥のうわさを聞いたとかいうことだ そのうえ火の鳥はかしこく 人間以上の知恵があるそうだし 舞いも踊れば人語もわかるし われわれがろくに使ったこともない文字というものも ちゃんと知っているという話です そして火の鳥は ある時期がくると われとわが身を 火の壺の中へ飛びこんで焼き その中から 新しい体が生まれ変わるといふ.....〔64頁～65頁〕

その3 猿田彦がナギ伝えることは

おまえも知ってのとおり 火の鳥はもう何千年も生きているという ときどき火の中へ飛びこんではわれとわが身を焼き 新しい若鳥となって生まれ変わるといふ話だ その生き血を飲めば永遠の命を得られるそうだし..... おれがヒミコさまの命令で おまえの村を滅ぼしたのも..... この村を前進基地にして 大がかりな火の鳥狩りを計画しておいでだったのだ〔132頁4コマ～133頁2コマ〕

その4 ニニギノミコトが火の鳥を目前に回想

「あれは.....伝説にきいた火の鳥だっ」そういえばおれが子どものころ乳母から聞いたことがある 東海の倭の国に黄金に輝く仙鳥がいてその血を飲むものは永遠の生命を得るとか..... その鳥はわれとわが身を 炎に焼き 若鳥に生まれかわるのだそうだし あの鳥こそ.....まさしくそいつだ〔*318頁6コマ・7コマ〕

かながき漢語表現について

上記にも示しておく。

ナギ「にいさんの弓はこのかいわいきってのうでまえなんだクマだって一矢なんだぜえっ」(13頁7コマ)...界限。

「**かんたん**にしとめられるものなら 今までにだれかがしとめておるわい」((13頁7コマ))...簡単。
天の弓彦「火の鳥にもあんが**かんたん**にお目にかかれそうだ」(*168頁7コマ)

「やめいっナギここは病人のへやじゃぞ」(14頁1コマ)...部屋。

ナギ「ほーらみろっにいさんがもどったんだ！火の鳥を射とめたんだざまあみろ **モウロクジジイ**」(14頁4コマ)...耄碌。

「ウラジとヒナクをいっしょに**ていねい**に海へほうむってやるべえなんしろあんないい夫婦はなっかたげのう」(16頁6コマ)...一緒。丁寧。案内。

おさ「**長たいへんだ!!**」「なんだっ**そうぞう**しいまた何かあったのか？」(17頁1コマ)...大変。騒々しい。

「**じょうだん**じゃないそんあことをしたらよけい死ぬのを早めるばかりだ」(20頁2コマ)...冗談。余計。

ヒミコ「おだまり！できのわるい**じょうだん**はおよし！」(*174頁2コマ)

ナギ「ほらっ お**べんとう**を持ってきてやったよ」(24頁8コマ)...お弁当。

「お 今夜は シラヌ火が **ずいぶん**出て いるようだね」(30頁3コマ)...随分。

「今夜ほど みごとな シラヌ火は はじめてだ」「**えんぎ**でもねえが.....」(30頁4コマ)...縁起。

「ふーん.....」「ところで**けっこんひろう**の **ごちそう**が待ってるぜ さそいにきたんだ」(30頁8コマ)...御馳走。

ナギ「グズリのようすが**へんだぞ**」(31頁2コマ)...容子。変。

ナギ「見たこともない**かっこう**のいくさ人だ シラヌ火のばけものどもだろうか？」(35頁4コマ)...恰好。

ナギ「**ちくしょー**っ くそーっ **ざんねん**っ うむーっ」(46頁8コマ)...畜生。残念。

「フフフ..... あいつはよくやったな **かんじゃ**というものを おれは**けいべつ**しておったが よく働いた 見なおしたぞ」(47頁12コマ)...軽蔑。

スサノオ「よし **ごくろう**だった さがってやすめ」(60頁1コマ)...ご苦労。

「ただいま **ご祈とう**の**さいちゅう**中でござります お待ちを.....」(60頁2コマ)...ご祈祷。

ヒミコ「なぜ**きとう****祈禱**をやめる!？」(*220頁3コマ)

ヒミコ「あの**こう**甲らのヒビを見たら**むちゃくちゃ**に はらが立ってきたっイーイー」(61頁2コマ)...甲羅。無茶苦茶。

ヒミコ「わらわに口ごたえしたなっ ゆるさぬぞ たかが**さきもり**防人の**ぶんざい**で!!」(94頁4コマ)...分際。

ヒミコ「えーい **ふきげん**じゃ」(94頁10コマ)...不機嫌。

猿田彦「のめ おまえは もう **りっぱ**な**かりべ**狩り部(狩部)だ」(95頁10コマ)...立派。

スサノオ「もう **がまん**ならんっ 姉上っ **さるたびこ**を**めい**出すように命じてください」(110頁7コマ)...我慢。

猿田彦「ナギ おまえはどうするつもりだ ここに住むわけにはいかんぞ ヒミコさまの
追手がもうすぐここへ上陸してくるだろう ヒミコさまは脱走者に ようしゃはなさら
ないからな.....」〔131 頁 7 コマ〕...容赦。

弓彦「ゆみひこ 一生のふかくでさ フフフフ...」〔*175 頁 5 コマ〕...不覚

弓彦「どうもおかしなけはいがしやがる火の山が一あばれだしそうなけはいだ.....
狩りは中止したほうがいいぜ」〔*175 頁 7 コマ〕...気配。

ヒミコ「うらぎりものっ!!」「むほん人だれだって許さぬ!!」〔*226 頁 3 コマ〕...謀反。

かながき和語表現について

グズリ「うわーっ 新たな 火のつぼがっ」〔*186 頁 3 コマ〕 猿田彦「ナギーっ 気をつけるっ
やつは 火の壺のほうへ 飛んでいくぞっ」〔*144 頁 3 コマ〕 ヒミコ「進軍のタイコを鳴らせ!
全軍 火の壺へ進め! 霊術をもってみんなを守ってあげるよ!」〔*176 頁 3 コマ〕

ストーリー解説文章

ギリシア神話では 火山の神を バルカンという ひとたび怒ればその声は 大気を逆巻か
せ 海をふるわせ やけただれた 汚物は あたり一面にあつい層をつくり 生きものも生きぬ
ものもすべてうめつくされるのだ バルカンのどういう気まぐれか..... その煉獄のなかに.....
たくましくはばたく一つの生命があつた それは不死鳥とも火の鳥ともよばれていた〔*7 頁 ~ 8
頁〕

「あを-カビ〔青黴〕〔混種名詞〕」

みなさんはもう ご存知かもしれないが 青カビの中には ペニシリンという化学性物質
がふくまれている

ペニシリンは伝染病や 膿んだりするきず〔傷〕によくきく ヒナクの病気は 枯れ草で
切ったきず〔傷〕あとからばい菌〔ばい菌〕が はいったらしいが たぶん破傷風という恐
ろしい病気だろう 破傷風にも ペニシリンはよくきくのだ ただ ふつうは注射すれ
ばよいのだが この時代は そんなものはないから口からのませるほかにはなかった こう
すると注射の五倍ぐらいの分量がいるのだが ぜんぜん〔全然〕きかないということはない
〔21 頁〕

西暦三世紀頃のこと.....魏(そのころの中国)の書物「魏志」の中にこういう史料がのつ
ている。

「会稽・東冶の東海をこえた所にヒミコなる女王をいただく国がある。その国へおも
むくには末盧の国 伊都の国などをへて はるか奥へはいらねばならぬ。その国は
邪馬台国といい、人々は顔が黒く〔も体も〕イレズミをしている。ヒミコ女王はよく妖術
をつかい〔使い〕、百余県を統率し、弟にその政治をてつたわせ〔手伝わせ〕ている。景初
三年(明帝)、女王はわが魏国へ使者をおくって〔送って〕、天子に服従することをちがい、
斑布、男女どれいなどを献上した」

この邪馬台国という国が日本のことなのか、または南洋〔南方〕のどこかの島のことなのか
よくわからないが、たぶん、はじめて日本を統一した国の名だろうという説がつよい〔強

い。ヒミコのいた場所は近畿地方の奈良あたりだという説と北九州だという説と、ふたつあるが、どちらにせよ、これが、日本という国が歴史に描かれた。さいしょ{最初}のものである。〔58頁〕

ヤマタイ国の女王ヒミコについては 古い中国の書「魏志倭人伝」の中に その頃の日本はたくさんの国があり なかでも大きな国はヤマタイ国で その国は もと男の王が治めていたが その王のあとに神につかえる女ヒミコが王位についた とするされている ここで問題は ヒミコが神の霊媒 つまり 巫女だったことである なぜ巫女なんかを女王にしたのだろうか おそらく 呪いをやったり 占いをしたりして 人の運命を決める力があるというので... 人々がヒミコを怖れうやまっていたのだと思われる ヒミコはその呪いの力で その国だけでなく あちこちの国をもしたがえて その勢いは大変なものだった〔91頁～92頁1・9コマ〕

神話によれば 天孫ニニギノミコトが下界へおりてきたとき 途中で怪神サルタヒコノミコトにであった{出会った}という。

サルタヒコノミコトは、ふつうテングの先祖といわれている。顔つきが恐ろしく、鼻が高い顔は、ボルネオあたりに住んでいるテングザルというサルに非常によく似ている。南方から、大昔わが国に渡ってきた日本人の祖先たちが、このサルの印象を、テングにたくしたと、いえないこともない。また、サルタヒコは、もともと九州に住んでいた原住民の酋長ではなかったかともいわれ(イギリスのチェンバレンなどの説)、外国から流れてきたニニギノミコト一行に、降参したのではないかとも思われる。この物語の中では、猿田彦は、ただの防人ではあるが、お茶の水博士の先祖ということになっている。〔*142頁〕

古代の日本列島には、馬がいなかった。馬は大陸系の動物で、人間の手で日本へ渡ってきたものだ。

その人間たちは広い大陸を、馬を使ってあちこちに侵略していた蒙古系の民族だったろうといわれている。この騎馬民族は、朝鮮半島から対馬や北九州や山陰地方へ乗りこんできたのだ。〔*21頁〕

高天原族 と、その男たちは名のつた。高天原族とは.....、ニニギとは.....、何ものなのか。

学者の説によれば、西暦三世紀から五世紀にかけて、北中国やモンゴルあたりを、馬に乗って駆けまわっていた部族 騎馬民族 が、ぞくぞくと朝鮮半島を通過して、日本列島へ侵略してきたという。

そして、もともとから、日本に住んでいた原住民たちを、つぎつぎに征服して、のちの神武天皇のヤマト政府を、築いたのでとしている。

神話にでてくるニニギノミコトは、天からタカチホの山にくだった神の子ということになっているが、ほんとは、大陸から渡ってきたただの馬賊の首領のようなものだったというのである。〔*218頁〕

神武天皇
この名まえを、日本人たちはどんなに神々しくやまい、心の底にきざみつけたことだろう。

しかし、神武天皇は、じっさいには存在しなかったのだ。

じんむてんのう じゅうだい てんのう すじんてんのう
神武天皇はじめ、はじめのころの十代ほどの天皇たちは、ずっとあとになって、崇神天皇
つくだ かくう てんのう
ころに作り出した架空の天皇なのだ。だから、みんな百歳ちかくまで生きていたなどと、
でたらめなことを書いている。

じんむてんのう きん つか てき につぼん
では、神武天皇が、金のトビなどを使って、敵をたいらげて、ヤマトに、はじめての日本の
せいふ きず
政府を築いたのはうそだったのだろうか。

だれかが、ヤマト朝廷を作ったことはたしかだ。

がくしゃ せつ たいりく きばみんぞく につぼん げんじゅうみん
学者の説では、大陸からきた騎馬民族のうちのだれかが、それまでの日本の原住民を
せいふく くに みやこ つく
征服して、ヤマトに、国の都を作ったのだという。

につぼん じんりやく たたか ぎやくさつ れきし くに
日本は、こうして、侵略と、戦いと、虐殺の歴史のなかで、だんだん国がととのつ
ていったのだった。〔*254 頁・255 頁〕

括弧によることばの共通表現置き換え表現

この記述方法は、作品中に古語を利用した場合、これを現代のことばに置換えていくと
ころで用いられている。

猿田彦「ここはアキツが原というんだ アキツ(トンボ)が多いだろう」〔76 頁 6 コマ〕

ヒミコ「防人どもよ 聞け！ 目的はただ一つ あの火の山にすむ火の鳥じゃ！」「火の鳥
みぶん けいじゅう と やま もり せいこう どれい
をしとめたものには身分の軽重を問わず 三つの山 三つの森と 生口(奴隷)十人を
つかわず!!」〔*162 頁 2 コマ〕

タケル「おとうはまえにおれにいったことがあるな？ 肉親どうし結ばればカタワやコケ
ていのうじ う
(低能児)が生まれるおそれがあるって……」〔*330 頁 11 コマ〕

ことばの注釈

ウズメ「逃げられないわ まわりから矢ぶすまだわ」〔*216 頁 2 コマ〕

矢ぶすま = 射手が並び重なってすきまのない列のこと。

ニニギノミコト「たしかにそのとおりかもしれん」「倭人どもにあわれみなどかけてはおれの
だいけいかく じつげん
大計画は実現しないからな」〔*250 頁 6 コマ〕

わじん たいりく にんげん につぼん せんじゅうみんぞく わじん よ
倭人…大陸の人間たちは日本の先住民族のことを倭人と呼んでいた。

象徴語

ケッコウ ケコ ケッコウ ケッコウ 〔29 頁 9 コマ〕 蛙の鳴き声だが、「ケッコウ【結婚】」という
ことばに懸けて用いられている。

別なキャラクタを登場

「ただの温泉なのにオオゲサ」〔54 頁 7 コマ〕 このひとつ前のコマから登場している。その人物
は、作者「手塚治虫」自身である。この場面だが COM 名作コミックス『火の鳥』黎明編〔昭和46年2
月28日発行〕では、「練馬温泉 国定旅館 虫プロへ 富士見台駅下車」と書き込み、セリフが「右コマーシャル」と
記載している。〔56 頁 7 コマ〕

〔117 頁 6 コマ〕の右端にベレー帽をかぶらないめがねをかけた作者「手塚治虫」が登場
する。手書き文字「使用中」の札も見える。〔117 頁 4 コマ〕には大石扉の上にヒールマーク

と「LADYS」の英文手書き文字書き込み)もある。

「ぼくたちあ六つ子^{むすこ}だい」[*158頁10コマ]と「フヒヨヒヨ...まるでイヌの子みたいに産む^うざんす」[*159頁1コマ]には、赤塚不二夫作品の「六子(おそ松くんなど...)とイヤミ」という別なマンガのキャラクターが描かれたりする。



「NORITO NO SERIFU O SAKASAMANI YOME」

「オーオー オーオー のんめし 苦かし.....」

「にえ.....うのらく や.....」

「..... がうる^{やく}扼かん さたしまでといよ血 オオーツ」

ちよいとでましたさんかくやろうが^{のりと} しかくしめんのやぐらのうえに

〔八木節〕を逆さまに詠んで祝詞のコトバとして仕立てている。

アーアアーアー さても一座の 皆様方よ

わしのようなる 三角野郎が

四角四面の檣の上で

音頭とるとは 憚(はばか)りながら

しばし御免を 蒙(こうむ)りまして

何か一言読み上げます

文句違いや 仮名間違いは

平にその儀は お許しなされ

許しなされば 文句にかかるが

オーイサネー

群馬県民謡(群馬民謡)八木節